

会 議 録

会議の名称	第4回見沼中学校区義務教育学校開校準備委員会及び専門部会
開催日時	令和2年10月22日(木) 開会：午後7時00分・閉会：午後8時10分
開催場所	行田市総合福祉会館やすらぎの里 第3研修室
出席者(委員)氏名	栗原利夫委員(準・運・P)、島田謙二委員(準)、清水乃理子委員(準・運・通)、小林敏信委員(準)、福田貴司委員(準・P)、大久保明浩委員(準・運・通)、須加春雄委員(準)、須加正委員(準)、多田昌樹委員(準・運・P)、吉田廣明委員(準)、中村仁政委員(準・運)、羽鳥修弘委員(運・P)、國島将司委員(運・P)、森田敏一委員(運)、多田敦委員(運)、松村有剛委員(運)、新島弘康委員(運)、大塚高雄委員(運)、中村賢一委員(運)、横田勇人委員(運)、武井理委員(通)、吉永孝委員(通)、森田裕也委員(通)、鈴木道子委員(通)、高澤美香委員(通)、木元貞夫委員(通)、永沼竹彦委員(通・P)、鯨井一男委員(P)、長谷川賢一委員(P)、杉澤肇委員(P)、飯田智之委員(P) ※()内は所属する部会(準：開校準備委員会、運：学校運営部会、通：通学部会、P：PTA部会)
欠席者(委員)氏名	尾澤照男副委員長(準)、小林茂副委員長(準)、田口和伸委員(準・運・P)、飯野隆史委員(運)、金子雅英委員(運)、大沢正和委員(運)、長島宏委員(通)、新藤雄作委員(通)、青木仁委員(通)、草野和文委員(通)、福地一行委員(P)
事務局	鈴木教育長、吉田学校教育部長、荻原学校教育部参事、諸貫学校教育部次長、須永主幹、上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼
会議内容	・経過報告 ・義務教育学校の設立について
会議資料	・資料1 見沼中学校区義務教育学校設立に関する経過報告 ・資料2 見沼中学校区 児童生徒数の見込み ・資料3 見沼中学校区義務教育学校設立に向けたガイドブック
その他必要事項	傍聴人 16名

ては、現在でも、埼玉県の東部地域内で93校中、最も規模の小さい学校であり、県内全域でも413校中、規模の小さい方から7番目となっている。

今後も、児童生徒数が増加に転じることは期待できない中で、小学校だけの再編を行っても、中学校は何も変化しない。教科担任制であり、部活動の課題がある中学校の規模がさらに縮小することで、学校としてもはや成り立たなくなると考えている。中学校区が存在しなくなった地域の小学校は、遠からず新たな中学校区内での再編成の対象となり、地域に学校がひとつもなくなってしまおうという状況が想定される。これは見沼中学校区だけでなく南河原中学校区も同じであり、行田市の北部地域全体に学校がなくなってしまうことは、将来のまちづくりの観点から、避けなければならない事態であると考えている。そのため、小学校同士の再編だけでなく、中学校を含めて義務教育学校として設立し、小中一貫教育の利点を生かして、学力の向上やいじめ・不登校の課題に重点的に取り組み、行田市で一番の学校を目指すこととする。そのように魅力ある学校とすることで、義務教育学校に通いたいという児童生徒を、市内他の地域から受け入れる取り組みを実施していく。小中一貫の取組みを先進的に進め、そのノウハウを蓄積するだけでなく、市内全体から児童生徒を確保して学校規模を維持することで、どのように学校を存続させるか議論することが可能になると考えている。

次に、義務教育学校について、「資料3」のガイドブックを基に説明する。開校にあたり、特に学力向上について力を入れていく。義務教育学校だからこそできることを最大限に生かして、学力を行田市内で一番、埼玉県下でもトップレベルの水準に引き上げていく。その手立てとして3つの特色ある教育を実践していく。

1つ目は、「みぬまグローバル科」の創設。身近でローカルな課題から順次世界的視野グローバルな課題について、総合的な学習の

時間を軸として探求的、協働的な学習を行っていく。例として、ジュニアでは地域のお祭りや行事などを学び、見沼の良さを知り、ミドルでは見沼の米づくり、サケの放流などローカルな題材を通して、見沼の宝を見付け、自分と地域との関わりを考え、ハイでは、まちづくりや地域の未来などグローバルな課題を通して、環境や防災・安全等の視点から、地域の課題に気付き、探求し、行動する力を養う。学習活動を通して、SDGsへの理解を深め、学んだことを発信できる実践力をつける。また、地域や研究機関、民間企業や行政などと連携しながら「協働」する力を育成していく。2つ目は、外国語活動、外国語の充実を通して英語力の高いグローバルな人材を育成する。5年生から外国語の免許を持つ教員とALTが、丁寧かつ専門性の高い授業を行い、基礎基本の定着とともに、会話を含む英語力全体の向上を図る。ALTは学校に常駐し、日常的に英会話のできる環境をつくる。また、5年生からは英語検定などに挑戦し、中学校卒業時には全体の7割程度の生徒が3級以上を取得できるよう支援していく。さらに、表現力を高めるため英語のスピーチコンテストなどを実施し、グローバルな人材育成へとつなげていく。5・6年生の一部教科担任制として、理科や算数、図工やプログラミングの授業などもある。実験観察や実習を伴う教科は、中学校の免許をもつ教員が教えることで、基本操作の習得が容易になり、基礎技能が定着する。5、6年生からは発展的な課題に取り組む機会を持たせ、専門的な指導を行い、さらなる学力向上を図る。

3つ目は、異学年交流の充実です。児童生徒会活動や縦割り活動を実施し、全校児童生徒による遠足などの体験を通して、リーダー性や協力性を育成していく。日常的な交流や意図的な交流を通して、下級生は上級生に憧れをもち、上級生が下級生の手本となって導こうとする互いで豊かな関係を育んでいく。

5ページ以降のQ&Aにつきましては、これまで質問が出たも

	<p>のからの抜粋となるので、目を通していただきたい。</p> <p>教育委員会としては、何より子どもたちのことを第一に、また将来を見据えて、義務教育学校の設立が必要であると考えている。そして、今申し上げたような取組みを実現していくには、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠である。</p>
事務局	<p>何か質問はあるか。</p>
A委員	<p>進行中であっても、途中で「話が違う」とか「そうは思わなかった」という意見が出てきて、もう一度見直そうという事はあっても良いことだと思う。ただ、この委員会は基本的に開校を準備する委員会であり、もし話を戻すのであれば最初にやった協議会の方に戻さないといけないと思う。私はパブリックコメントの頃からいろいろ意見を言ってきたが、基本的には義務教育学校に疑問を持った意見を出してきた。決まった後も協議会の中で色々意見を言ってきたが、他の方からはあまり意見がなかった。保護者にちゃんと説明をした方が良いという話をし、教育委員会が保護者に説明した後に「何かあったか」と聞いたら、「特に問題はありませんでした」という話だった。自分の思いはあるけど、それならばやむを得ないと思って、準備委員会で前向きな協議に参加してきた。協議会などの場でいろいろ意見を出して、議論をして、決めていくべきだったと思う。義務教育学校に疑問を持った多くの人がある訳だから、説明だけでなく、そういった人とちゃんと議論しないと進まないと思う。今日の説明を保護者にしたとしても以前と同じ事だと思う。荒木や須加の方が義務教育学校のどの部分が良くないのかという話を聞かないと、何が良いのか判断できないと思う。だから、やり方を考えていかないといけないと思う。北河原小と南河原小の再編成が駄目になったのは再編成委員会で話を進めているうちに、我々の要望とは違う方向に教育委員</p>

	<p>会が動いているのではないかという事で、住民に話を聞いた上で再編成委員会の方で撤回を求めた。今の形とは違うが、その時も撤回を求める前に議論をしてきた。今回に関しては、荒木と須加の意見がわからないので、それをわかるようにしないと進まないと思う。</p>
<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>まずは尽力いただいている準備委員会の皆様に現状をお知らせするという趣旨で本日お集まりいただいた。今後議論する中でどういものが問題になっているか整理していきたいと思う。荒木地区の代表の方や須加のアンケートの意見を見ると、説明が足りないという意見があった。そのため、今回の保護者説明会や地域説明会を開催することになった。</p>
<p>B 委員</p>	<p>色々な人の意見を聞くと再編成は仕方ない事としても義務教育学校だけが一つの方法ではないと思う。もう少し幅広く考え、他の方法も検討してもらって、それで決をとってもらった方が良いと思う。</p>
<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>この計画の最初は、通学区域審議会で見据えた市内全域の通学区域の検討をした。その中で、見沼中学校区については、義務教育学校が一番適しているのではないかと進んできた。その中で疑問に思う意見をいただいたので、しっかりと保護者の皆様の意見を聞きながら検討していきたいと思う。</p>
<p>C 委員</p>	<p>この集まりの最初の頃は南河原の方もいたと思う。私自身は義務教育学校に対してすべて否定的ではないが、複数の小学校、複数の中学校が一つになって義務教育学校を開設しようという動きであるならば前向きにとらえていきたいと思っていたが、実際部会に分かれた時に「中学校 1 校、小学校 3 校です。」「十年後は別</p>

	<p>な形なので、今は考えていただかなくて結構です。」という説明を聞いたときに、自分で考えていたものと少し違うなと感じた。現状の話では、学校の規模はそれなりに確保できると思う。小学生の問題については、過小規模校でなくなるのは事実だと思うが、中学生のことを考えると、複数の中学校が統合されたわけでないから、何も変わらないと思う。この資料では、5年後は70人になってしまう。中学生だけの規模を考えた時に、健全な中学生としての教育と言えるのかが心配である。もし自分にその時に中学校に通う子供がいたとしたら、長野中学校に通うことを子供と一緒に考える事になると思う。</p>
<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>資料に示している数字は、将来的に近い数字になってくると思う。そういった中で、義務教育学校ということで、魅力ある学校を作って、この学校にぜひ行きたいという生徒を外から受け入れて、規模を維持していきたいと考えて、進めてきたところである。</p>
<p>D委員</p>	<p>資料のQ12にある部活動に関してだが、部活動の数もだいぶ少ないということで、生徒が好きな部活を選べないことを心配している。部活動だけでも市内で区分けをして、合同でできないのかなとずっと思っていた。そもそも原則全員参加ということ自体に疑問に思うので、参加しなくても良いという選択肢も生徒に与えてもいいのかなと思うが、そうなると、この規模だと部活動が成り立たなくなってしまうので、強制的に参加させないといけなくなってしまう。でも、この部活はしたくないというのもあるだろうから、柔軟に考えてもらいたい。全体的には義務教育学校には賛成ではあるが、その辺りをもう少し考えてほしい。小学生から参加できるという話もあるが、そこまでする必要があるのかなと思う。数年後には部活動は学校から切り離される方向という話も出ているようなので、それも含めて検討していただければと思</p>

<p>荻原学校教育 部参事</p>	<p>う。</p> <p>今の意見のとおり、これから部活動については各学校の人数も少なくなっている中で指導者に要請をして指導していただく可能性もある。小学5年から参加という部分に関しては、なるべく早い段階で競技をやることで、さらに向上するということもある。様々な面から検討しながら進めていきたいと思う。</p>
<p>A委員</p>	<p>保護者の意向調査について、例えば、「義務教育学校に賛成ですか、反対ですか」、「小学校3校の統合に賛成ですか」、他にも色々な話も出ているので、いくつかパターンがあると思う。意向調査の取り方と、その意向調査を受けて保護者の意向をどう取り扱うのか、行政の立場として非常に難しいところだと思う。意向調査の扱いについて、ある程度決まっている事があれば教えてもらいたい。</p>
<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>今考えている意向調査の内容だが、見沼中学校区は義務教育学校で再編成するという事で進んできたので、義務教育学校に反対か賛成かという意向を確認したいと考えている。その結果をどのように判断するかは難しいが、投票ではなくアンケートとして取るので、その傾向を見て、最終的には判断していきたいと考えている。</p>
<p>E委員</p>	<p>私が見てきた中の最近の雰囲気は報告させてもらおう。荒木小の保護者としては、説明不足だと感じていたように思う。義務教育学校のメリットばかり説明していた形なので、聞いている保護者の方も、何を質問したら良いのかわからないまま説明会が終わってしまったのかなと思う。これからの説明会では、駄目な部分も同じように保護者に伝えてもらいたい。今の義務教育学校の作り</p>

	<p>方だと受験生を持つ親としては不安を感じることもある。そういったところで不安に思っている保護者もいると思うので、そういったことを伝えてもらいたい。</p>
D 委員	<p>今回の地域からの要望の中で、荒木、須加はあるが、北河原ではやっていないのか。</p>
諸貫学校教育 部次長	<p>北河原の方では、このような署名をしたという声は届いていない。</p>
D 委員	<p>須加地区は賛成・反対という意見をもらっているが、できれば他の地区の意見をもらえれば今後話し合うにあたって、色々な方の参考になると思う。</p>
諸貫学校教育 部次長	<p>須加地区については、意見の内容も併せていただいている。荒木地区については、趣旨を記載いただいているので、実施いただいた方々に、皆さんで共有しても良いか確認した上で、議論の材料にしたいと思う。</p>
F 委員	<p>今後の賛否に対してどう話が進むか、自分も疑問なところも不安もあるが、どちらに転んでも令和 4 年 4 月には、何らかの動きというか形となって出てくるのか。</p>
吉田学校教育 部長	<p>この先、不確定な部分はあるが、令和 4 年 4 月には複式学級の解消を目指している。</p>
C 委員	<p>教育委員会として、プール施設の廃止という選択肢はあるのか。授業ではなく、施設の方の事だが、維持管理費がかかるプールが各小中学校にあることを考えると、個人的な意見では、廃止をし</p>

<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>て民間委託ができないかと思っている。</p> <p>近隣ではそのような選択をしている自治体もある。施設の老朽化は計画的に改修等を進めているところだが、そのような事例を含めて、将来的な施設の活用について考えていきたいと思う。</p>
<p>B 委員</p>	<p>荒木地区で反対署名があるが、それを無視して進めるのは教育委員会の独断ではないのか。</p>
<p>吉田学校教育 部長</p>	<p>署名で 8 割の反対意見があるのは本当に重く受けとめている。そういった中で、保護者の方とか地域の皆様に、今一度、丁寧な説明をしていくのがまず最優先であると考えている。その中で、特に保護者の方に意向調査ということで、確認させてもらって、その結果をもとに今後のことを検討していきたいと考えている。</p>
<p>5 閉会</p>	